

【新たな挑戦を仲間と！② 6月30日避難訓練！】 校長 滝川 尚

本日は地震を想定した運動場への避難訓練を予定していましたが、天候の影響で内容をシェイクアウト訓練に変更して実施しました。

生徒たちは、真剣な表情で、放送内容や担任からの指示を聞き取り、落ち着いて訓練ができました。その後は、「震災の教訓を活かせ」という、DVDを視聴し、過去の大震災や地震のメカニズムについて学習を進め、普段からの地域のつながりや訓練の大切さを学びました。

地震発生時には、非常時だからこそ、一人一人が落ち着いた行動が求められます。特に集団訓練なので、互いに連携し合い、情報を聞き取って安全に行動することが大切です。本日のような避難訓練を繰り返すことにより、適切な知識と行動パターンを身につけることが、災害発生時の被害を最小限に抑えることに結びつきます。その意味で本日の訓練における生徒たちの動きは大変すばらしかったと思います。

更に、実際の場面でより対応力のある南中生であるために、こういった訓練時に想像力を働かせて、実践力を磨くことが大切です。想像力を働かせるとは、例えば、訓練時はいつもと変わらない教室、廊下の様子で、聞こえてくる音、匂いも普段と同じですが、壁や天井の崩落はないか、倒れた本棚や割れたガラスの破片はないか、火災が発生していないか等、危険な状況が起きているかもしれないことを想像して訓練に臨むということです。そのように想像力を働かせて、気づいた課題や改善点があれば、クラスの仲間と積極的に意見や情報を出し合うことで、より効果的な訓練となります。

最後に、今回の訓練では、教室にいるときに地震が発生したという想定で訓練をしました。しかし、実際はどこにいるときに地震が発生するかわかりません。運動場にいるときに地震が来ることもあれば、特別教室や体育館またはトイレにいるときに地震に見舞われる可能性もあります。そういったとき、まずは今日の避難訓練を思い出して、自分がいる場所でとっさに身を守ることができるよう、速やかに行動してください。

災害が来ても慌てない南中生となるよう、本日の訓練を活かし共に成長していきましょう。

【シェイクアウト訓練の様子】



